



NPO法人つなげる

誰もが命の誕生を当たり前に喜べる社会を実現する

NPO法人つなげる 2021年度年次報告書

〒661-0002 尼崎市塚口町1-25-2

TEL/FAX 06-7709-2176 ☐ info@tsunagerunpo.com

◎ npo_tsunageru

🐦 tsunageru_npo

פייסבוק tsunageru.npo



NPO法人つなげる 2021年度 年次報告

(2021年10月～2022年9月)

代表挨拶

チャレンジさせてもらった1年でした！

— 2022年はどんな1年でしたか？

これまで気になっていたことに、全てチャレンジさせてもらえた1年でした。やらなかつた後悔はないです。「こんな日常にしたいねん」をワクワクしながら思い描いたけれど、簡単にうまくいくはずもなくもがき続けた1年でした。

人に関しては、「なぜ、これをするのか」を伝えたうえで関わってほしいと依頼したとき、熱を持ち続けながら最後までやり切ってくれる人たちとの出会いは、とてもありがたいものでした。時間のかかることもあっただろうし、怖いとおもうようなこともあっただろうけど、その人たちには感謝しかないです。

— やりたいことをやった結果どうだった？

まだまだ力不足な状態でスタートした事業もあり、反省点がたくさん出てきました。でも、だからこそ見えてきたものがあります。同じタイミングでいろいろなチャレンジさせてもらったおかげで、（今後）何を残していくのかの優劣をつけることができました。私の場合、ばらばらのタイミングでのチャレンジだと、優劣をつけることが難しかったかもしれません。

当たり前だけど、“多胎支援”とひとくくりにできる「答えありき」の支援策などはなく、いま目の前で困っている人をサポートするには、個別に対応しながら柔軟な発想でチャレンジしていくしかなくて、自分たちがやっていることは「ベンチャー企業みたいだな」「新しい事業をつくっている組織なんだよな」と改めて感じました。これは、つなげるに関わるメンバー全員に再認識してもらいたいですし、その中で自分が関わりたいこと、関われること、責任をもって引き取れるものを選びとつてもらえたたらとおもいます。

— 2023年の展望は？

2022年の反省を受けて、広く浅くできる部分としっかり深掘りする部分のメリハリをつけていきます。そして常に「あの人を支えていく」という意識を持ち

続けたいです。これまで、その人の悩みを聴かせてもらうことに重点を置いてきました。けれど、その人の悩みにあったテーマに対応できるようになっていきたいです。また、個々のテーマに探求心を持って主体的に考えて動ける仲間集めや、他団体さんとの連携も強めていきます。

そして、助成金ばかりに依存するのではなく、事業として継続できるよう自分たちなりの収益源をつくっていきたいです。

わたしたちと直接出会えた人には、「なぜこれやってるのか」の根っここのところから、未来の姿まで伝え続けることで、熱量をもってつながる仲間づくりをしていきます。また、想いや願いを盛り込んだ多胎グッズも手がけます。地域で多胎支援活動をしている人、これから活動したい人へは、わたしたちの手法を共有し、地域活動に活かせるよう応援していきます。

今は、多くを助成金で支えてもらっていますが、事業継続と自由度高くチャレンジするための資金調達ができるよう、知恵をしぶってすすめていきます。

— さいごに

「（事業運営が大変で）こんなことをやっていて本当にいいのだろうか」と不安になることはいっぱいあったのですが、後押しをしてくれた人たちには感謝しかありません。

参加してくれる・利用してくれる・声をあげてくれる人たち、いまも（多胎育児で）しんどいだろうけど、（つなげるに）関わってくれる人たち、当事者じゃなくても課題解決ができるようサポートしてくれる人たち。沢山の人たちのおかげで、わたし自身もひとりぼっちではないとおもえました。

感謝の気持ちを伝えることができていなかったので、「いっしょにいてくれて、ありがとう。こんなことができました。」と、感謝を伝える機会を沢山つくっていくところから、2023年は始めていきたいです。



NPO法人つなげる
代表 中原 美智子

目指す社会・取り組み

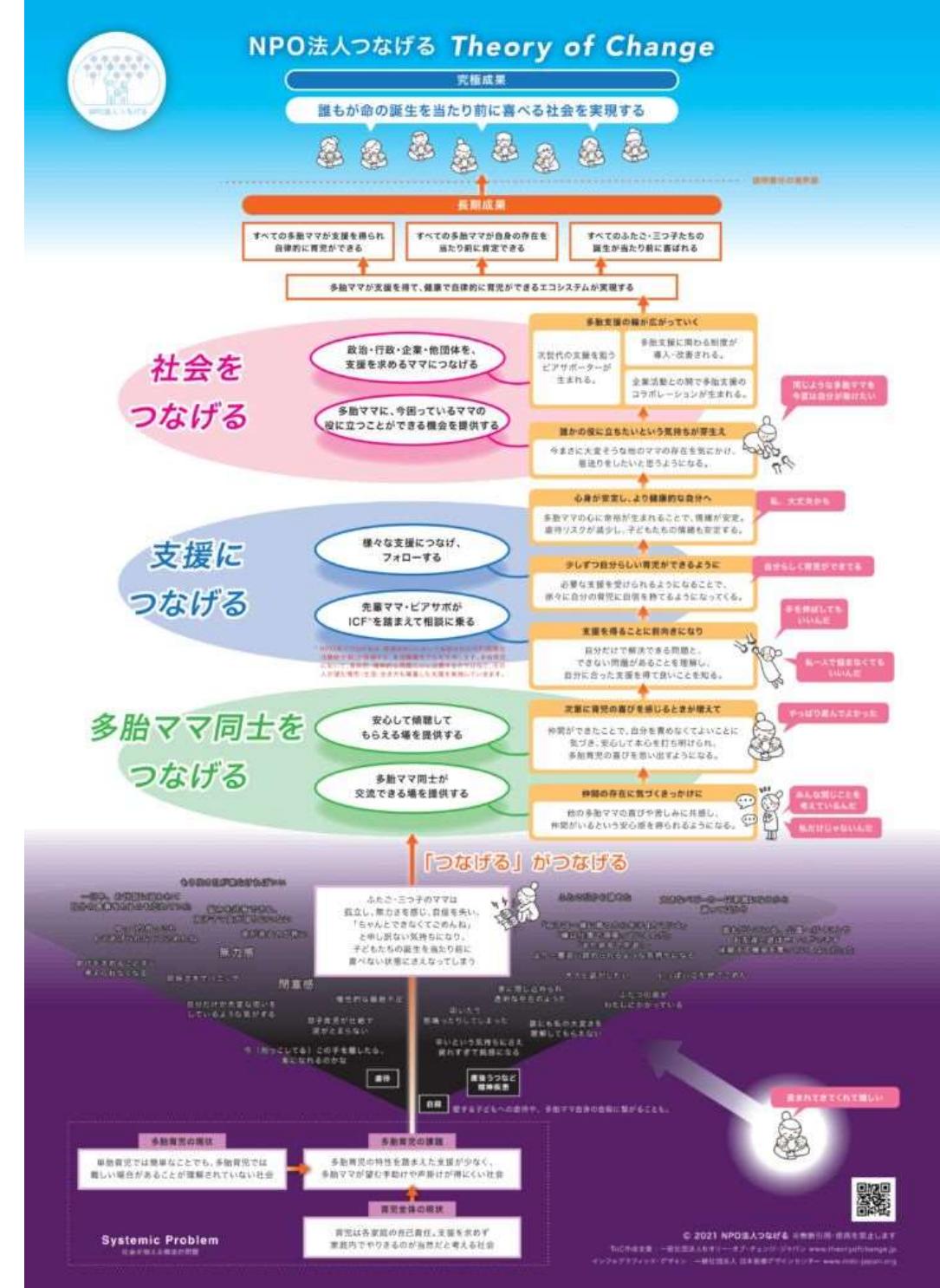
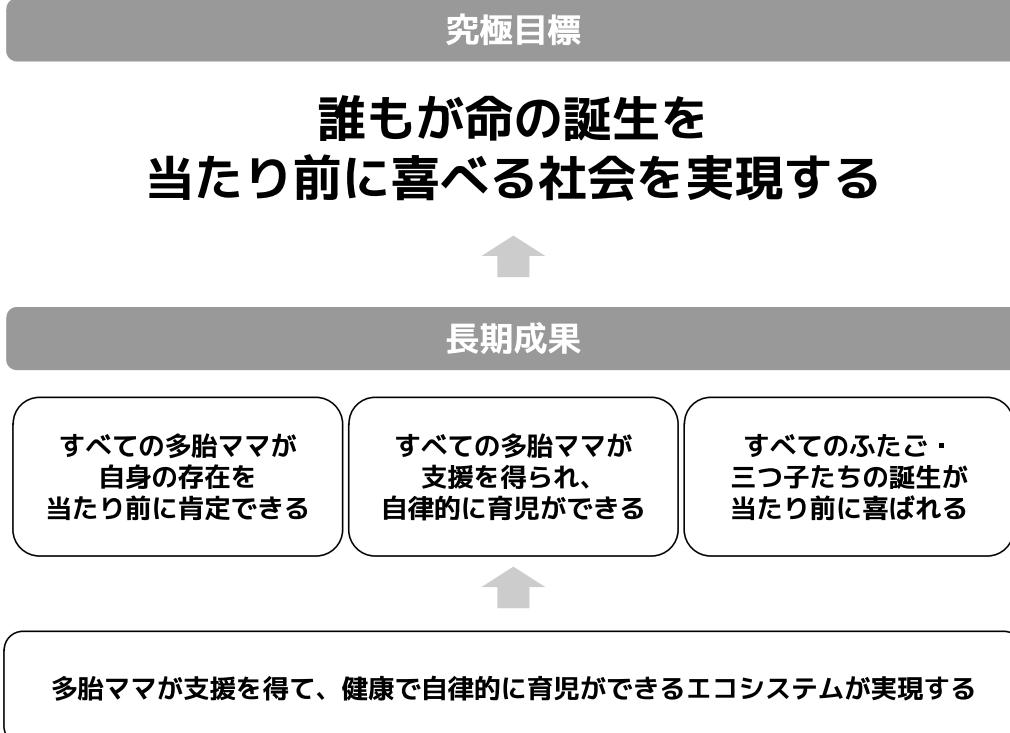
NPO法人つなげるのToC（セオリー・オブ・チェンジ）

ToC（セオリー・オブ・チェンジ）とは、社会課題の解決を目指す団体の経営の骨子を示すものです。ToCは、1990年代以降にアメリカで開発された方法論で、欧米等の多くのNPOで作成され、自分たちの団体の説明や社会資源の獲得に用いられています。

NPO法人つなげるでも、2020年春から作成を開始し、足掛け1年半をかけ、2022年1月についてToCが完成しました。このToCでは現代の日本社会において、多胎育児にはどのような問題があり、当法人が多胎家庭にどのように寄り添うことで問題を解決し、より良い社会を実現しようとしているのか、をまとめています。

こちらは簡易版となりますので、全体はこちらからご覧ください。

▷<https://tsunagerunpo.com/news/7992/>



2021年度の活動トピックス

1 『ふたごのひろば』がオープン



2021年12月に、バーチャルオフィスツール「oVice」を用いたオンラインコミュニティサービス『ふたごのひろば』をオープンしました。「oVice」はそばで話しているような感覚で、音声で楽しく、気軽に雑談できます。365日24時間オープンしているので、誰かに話を聞いてほしい時や、育児や家事の合間など好きな時にも参加できます。今年度の利用者数は、約5,318名です。「気軽にしゃべりやすい」「操作も簡単」と多くの方にご好評をいただいています。

2 大阪府の多胎妊娠婦約650組をつなげるプロジェクト



大阪府の実施する「NPO等活動支援によるコロナ禍における社会課題解決事業」に採択され、大阪府・村上財団のサポートのもと行われました。クラウドファンディングで無事に目標の資金額を調達し、以下のサポートを提供することができました。

- ①オンライン交流ひろば、②多胎プレパパママ教室および両親学級、③多胎ピアサ

ポーター養成講座。クラウドファンディングにご支援いただいたみなさま、本当にありがとうございました！たくさんの方にご支援・応援メッセージをいただき、とても勇気づけられました。

■クラウドファンディングのご報告

支援総額: 6,044,150円

支援者数: 297人

期間: 2022年5月13日～6月30日

※目標金額を達成したため、村上財団から 500万円が追加され、活動は1,100万円規模で実施



3 休眠預金を活用した「多胎親の居場所と就労支援事業」



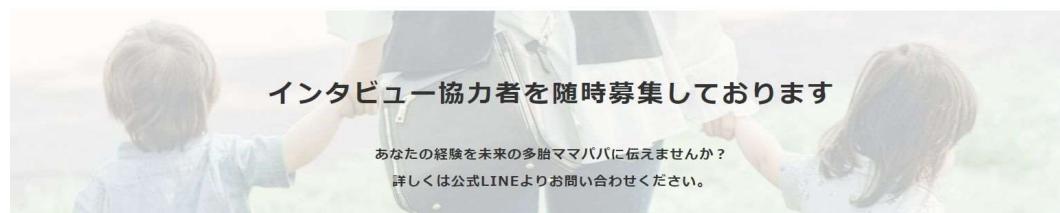
READYFOR株式会社と認定NPO法人育て上げネットが実施する、休眠預金を活用した新型コロナウイルス対応支援助成「若者の「コロナ失職」包括支援プログラム」に採択されました。多胎妊娠・出産・育児において、働きづらい/雇いづらいという社会問題は手付かずな現状があります。在宅でも働きやすい環境を作れるよう、在宅ワークでも活かせるオンライン研修の開催、多胎育児をしながら働くを体験する就労体験の実施、自身のキャリアを相談する個別相談会などを通して、『多胎×働く』における社会問題を発見するための1年としています。

4 『多胎チャンネル』開設



多胎チャンネルは悩める多胎家庭のママ・パパに生活のコツなどの情報を配信するWebメディアです。

同時育児で外に出られず、孤立しがちな多胎ママパパが多胎に関する情報や多胎育児を経験した先輩ママパパたちの声を聞くことで孤立や孤独感がすこしでも解決できるように、また、多胎妊娠したママやパパが多胎育児に関する情報に触れやすいように、多胎のことだけを集めた『多胎チャンネル』を制作しました。



インタビュー協力者を随時募集しております

あなたの経験を未来の多胎ママパパに伝えませんか？
詳しくは公式LINEよりお問い合わせください。

各事業報告

1 つなげるピアソーター養成

NPO法人つなげるでは、多胎育児の経験者のママパパにつなげるピアソーターとして、活動に関わってもらっています。つなげるピアソーターには必ず事前にピアソーター養成講座を受講いただいています。つなげるピアソーターの行動の原則は、傾聴です。答えを押し付けるのではなく、サポート相手に寄り添う姿勢を大切にしています。

講座受講者数 **122** 人

つなげるピアソーター数 **41** 人

2 オンラインコミュニティ運営

「多胎ママ同士が交流できる場」「安心して傾聴してもらえる場」として現在5つのオンラインコミュニティを提供しています。全サービスの利用者は7,000名を突破し、日本全国でいちばんのオンライン多胎支援団体となりました。



登録者
2,100 人



登録者
400 人

LINE
公式アカウント

登録者
4,400 人

3 つなげる相談室



相談スキルを持ったピアソート相談員や、心理の専門家がお話しを伺います。大勢のグループでは言えない話を、個別相談の中で安心して話すことができる時間です。

のべ **67** 人にご利用いただきました。

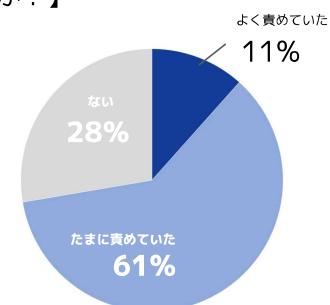
4 多胎育児の困難とオンライン支援サービスの有効性研究

アンケート結果からは、多胎（ふたご・三つ子等）の養育者（ママ、パパ等）が育児において様々な困難を抱えていることが明らかになりました。また、得られたデータを用い、統計的手法を用いて当法人の支援の有効性を検証した結果からは、困難の解消にむけて当法人が行う支援に一定の効果が見られることが明らかになりました。調査結果報告書では、より詳細な分析情報を掲載しています。

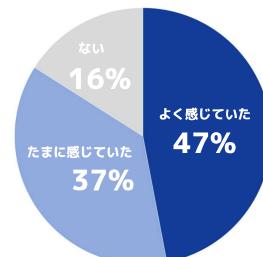
【育児において、自分を責めることはありましたか？】



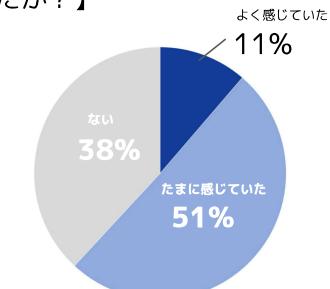
つなげるのサービス
利用前後の変化



【育児において、孤立感を感じることはありましたか？】



つなげるのサービス
利用前後の変化



双子・三つ子など多胎に関する
アンケート結果はこちらから



2021年度財務報告

2021年度はクラウドファンディングの実施もあり、多くの方にご寄付いただきました。また、金額規模の大きい助成金の採択もあり、大きく財政規模が拡大しました。2022年度以降、自主財源確保および継続的な助成金活用による、事業継続を目指し、活動していきます。

(単位：円)

		2019年度	2020年度	2021年度
経常収益	受取会費	210,000	207,000	289,000
	受取寄付金	414,755	670,870	11,235,891
	受取助成金	0	2,386,934	10,378,388
	事業収益	329,918	2,412,879	1,128,981
	その他収益	3	2,263	3,838
	経常収益 計	954,676	5,679,946	23,036,098
経常費用	事業費 人件費	0	0	5,870,603
	その他経費 諸謝金	152,770	1,418,135	3,383,154
	業務委託費	12,261	1,022,200	4,279,623
	広報宣伝費	0	904,632	2,235,649
	通信運搬費	78,214	337,642	663,551
	支払手数料	11,957	65,482	1,192,591
	その他	130,032	470,894	2,064,560
	その他経費 計	385,234	4,218,985	13,819,128
	管理費 人件費	0	0	0
	その他経費	465,504	169,563	169,759
経常費用 計		850,738	4,388,548	19,859,490
経常外収益		0	0	0
経常外費用		0	0	0
法人税、住民税及び事業税		0	25,255	91,255
当期正味財産増減額		103,938	1,266,143	3,085,353
前期繰越正味財産額		307,078	411,016	1,677,159
次期繰越正味財産額		411,016	1,677,159	4,762,512

寄付のご案内

NPO法人つなげるの活動は、皆さんのご支援に支えられています。

NPO法人つなげるの活動を応援していただけませんか？
孤独になりがちな多胎家庭と社会をつなぎあわせることができます。

1回の寄付



ご都合の良い時に、自由な金額でご寄付いただけます。

毎月の寄付



毎月1000円～ 継続的にご寄付いただくサポーターを募集しています。

① URL or 二次元バーコードから寄付ページにお入りください。
<https://tsunagerunpo.com/ouen/>

② 支援金額・支払方法をお選びください
[銀行振込 | クレジットカード]



広報物設置場所でのご協力のお願い

チラシやカードを設置して、NPO法人つなげるの広



活動に協力いただけませんか？情報不足になりがちな双子・多胎家庭に、支援の手を届けることができます。上記のURLもしくは二次元バーコードから、必要な部数と送り先を記入の上、お問い合わせください。

<https://tsunagerunpo.com/contact/>

